倉橋惣三「保育法」講義録、今月が最終講義となりました。編集にあたられた土屋とく先生、どうもありがとうございました。この講義録、各所で話題になり反響をよんでいます。講義録を読まれ、学習会を開くようになった現場の先生方もいらっしゃるとか。編集にたずさわっている私共にとっても、うれしいことです。

来月号では、倉橋先生の講義を直接受けられた大先輩の方々から、倉橋先生のお人柄や講義のご感想などをおききしたいと思っております。読者の皆様方からもご意見、ご感想がございましたら、どうぞお寄せ下さい。

今月は「土」をテーマに特集を組んでみました。一日すごしていても土にふれることが全くない生活をしている自分に気づき、いそいで植木に水をやりに行きました。都会では、土は公園とか、幼稚園とか、限られた場所にしかなくなりつつあります。小学校でさえ、花壇にしか土がないという所はめずらしくありません。生命のもとの土がなくなるということは、生命がなくなるということにもなるのでしょうか。

以前、テレビで、一年かけてのお米作りを保育の柱とし、そこから生ずる様々なことを教材としてとり入れ、保育に生かしている園のことを拝見しました。田植えや草刈りは労働であるとともに、子ども達にとっては泥んこ遊びやバッタとりにもなります。最後は、収穫したお米で、おもちをついて食べます。一年間を通して土とふれあう毎日のつながりと、生命のつながりがみえました。

山田洋子先生の母のイメージ、いかがでしたか。この年になると母親も女同士の良き先輩という感じですが、子どもの頃には母のそばにいると安心したものでした。私の母は、強いて言えば後ろだての母でしょうか。

（K）

幼児の教育　第八十八巻　第五号
五月号　©
定価　四一〇円（税込）

平成元年　四　月二十五日　印刷
平成元年　五　月　一　日　発行

東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼発行人　本　田　和　子

東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所　日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一
印刷所　図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所　株式会社　フレーベル館
振替口座東京九－一九六四〇番
TEL・二九二－七七八一㈹

⊙本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

※万一製造不良の点がございましたら，おとりかえいたします。